

2025 年 4 月 30 日

各位

株式会社三井住友銀行

株式会社グッド・エナジーに「SMBC 社会課題解決推進支援融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕）は、株式会社グッド・エナジー（代表取締役：市川 雅也）に「SMBC 社会課題解決推進支援融資」を実施いたしました。

「SMBC 社会課題解決推進支援融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業の社会課題解決に向けた取り組み状況を確認した上で、①組織の社会課題への取り組み姿勢等に対する所見と、②ロジックモデル（事業活動を通じた社会課題への道筋が見える化したもの）の仮説を提示し、今後の取り組み推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、株式会社グッド・エナジーについては、以下に記す事業を通じた社会課題解決について、取組推進に向けたアドバイス等を提供しました。

① 中古及び非 FIT 太陽光発電の活用拡大を通じた廃棄抑制及び再エネ電力普及への貢献

事業内容	中古太陽光発電設備の買取・リフォーム・販売及び非FIT太陽光発電事業を、個人、企業や自治体向けに提供しておられます。顧客は、初期投資を抑えながら再エネを導入することができます。
当該事業を通じて解決を目指す社会課題	気候変動の緩和
社会課題解決への貢献内容	貴社の非FIT太陽光事業を通じて、企業や自治体による太陽光発電の自家消費が進めば、エネルギー自給率の向上や、発電に係る化石燃料の使用削減、そして脱炭素化の進展が期待できます。また、中古太陽光発電事業においては、貴社のリフォームを通じて発電効率が改善されることで再エネ発電量の増加に寄与すると共に、廃棄される太陽光パネルの削減にもつながり、資源循環型社会形成の促進に貢献しておられます。

（参考）社会課題概要

世界の平均気温は上昇し続けています。2023 年は最も暑い年となり、産業革命前と比べて 1.5℃近く上昇しました。気候変動は企業に様々なリスクをもたらします。海面上昇により沿岸部の工場の操業停止を余儀なくされるリスク（「物理リスク」）や、国による規制等の強化により事業活動が制限されるリスク（「政策リスク」）、社会・消費者の需要の変化により事業機会が縮小するリスク（「市場リスク」）等が考えられます。

株式会社三井住友銀行では、「SMBC 社会課題解決推進支援融資」を通じて、お客さまの幅広い社会課題解決に向けた取組を支援することで、お客さまとともに社会的価値創造の好循環を生み出す取組を推進してまいります。

以上